

東洋学藝雑誌

近代日本初の“総合学術雑誌”

イギリスの啓蒙科学雑誌 *Nature* を範として創刊され、同誌から「東洋の *Nature*」と評価された。近代日本の学術・思想界半世紀に君臨、とくに欧米文化受容の主導的役割を担ったものとして最も重要な雑誌
全 567 号を収録

残部少

2025.1

我邦人の理学ノ思想ニ乏シキハ識者ノ
常ニ憂フルトコロナリ故ニ之ヲ救ヘン
カ爲ニ此雑誌ニ理学ニ關係アル文章ヲ
掲載シテ其性質及ヒ功用ヲ世ニ明ニセ
ンヲ力メタリ固ヨリ詰屈解シ難キコ
トノミテ討論スルニ非スト雖トモ世尙
ホ或ハ此雑誌ノ讀ミ難キヲ困シムモ
ナキニ非ス因テ更ニ其區域ヲ廣メ文藝
上ニ涉レル平易ナル文章ヲモ其間ニ
ヘ甘苦相半ナラシメテ世人ノ望ニ負
ク無キヲ期スト云爾

(明治14年10月)



(1922・大正11年8月)

次 目 號 月 八 藝 學
行發日一月八年一十正大 號一 九 百四第 冊八第 卷九十三第

◎波の音……………	◎日光赤沼原の御花畑……………	◎組織及血液反應の調節……………	◎自然の威力の征服……………	◎電子の原子價説……………	◎コングエント博士を悼む……………	◎はにかみの變態心理……………	◎俗語と語原……………	◎海外雜俎……………	◎寄生去勢の現象……………	◎伊太利移民の現状と其地理學的考察……………	◎場の生活……………	◎日本の水力電氣……………	◎新發明と新發見……………	◎エスペラント及エスペラント主義……………	◎理想的殺蟲劑の製法……………	◎富士湖水地方名所廻り……………	◎帝國學士院記事……………	◎震災豫防調査會記事……………	◎學會記事……………		
▲表紙▼	▲口▼	▲論▼	▲説▼	▲表▼	▲紙▼	▲口▼	▲論▼	▲説▼	▲表▼	▲紙▼	▲口▼	▲論▼	▲説▼	▲表▼	▲紙▼	▲口▼	▲論▼	▲説▼	▲表▼	▲紙▼	
寺田寅彦(三)	三好學(六)	松村松年(六)	石井利作(三)	臨水鐵五郎(三)	武田久吉(三)	大森房吉(三)	山内繁雄(三)	佐々木忠次郎(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)	吉江弘(三)

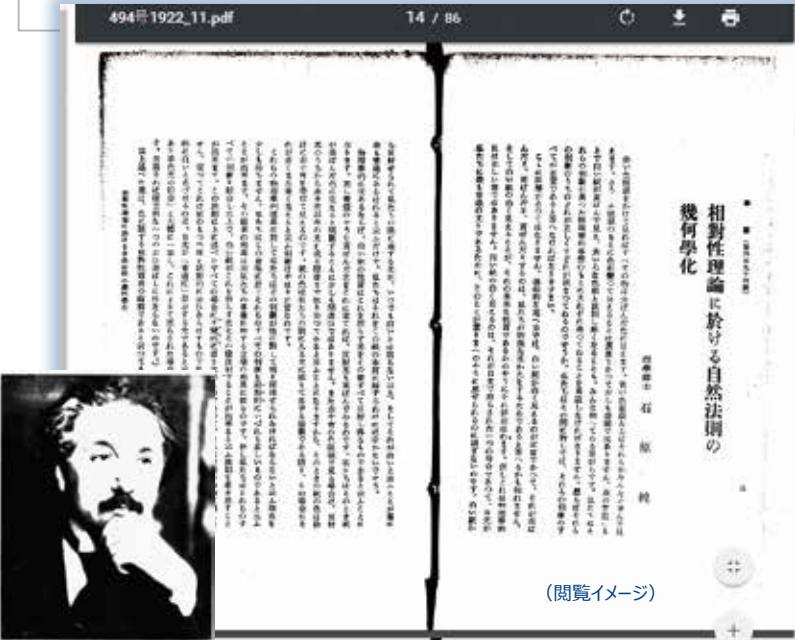
全 567 号
[1881~1930]
[明治14~昭和5]

〈自然・人文・社会科学〉
近代日本の学術を牽引した
世界に誇る知のアーカイブ

総 35,000 ページ



(大空社 2011年2月刊)



(閲覧イメージ)

学術資料出版
大空社出版

広汎な分野・テーマ

主な寄稿者

総約 850 人より抄出

* 分野/人名 50音順。分類は参考

DVD-ROM

学術史上の各領域に輝く錚々たる執筆陣
歴史に残る重要著述が網めじろ押し!

☆学術組織・団体・研究者の動向を記録する記事を毎号掲載

医学・医師・医事

青山胤通 東竜太郎 石原喜久太郎 伊藤圭介(蘭方医) 稲田竜吉(内科) 入沢達吉(内科・医史学) 宇田川興斎(産科) 榎村清徳 桂秀馬(外科) 河本重次郎(眼科) 呉秀三(精神医学)

小泉丹(衛生学) 駒井卓(遺伝) 佐々木政吉(内科) 佐藤三吉(外科) 篠遠喜人(遺伝) 島菌順次郎(内科) 杉田直樹(精神医学) 瀬川昌吾(小児科) 田代義徳(整形外科) 田中義麿(遺伝)

土肥慶蔵(皮膚科) 外山龜太郎(遺伝) 永井潜 額田豊(内科) 橋田邦彦(教育) 橋爪横椰子 浜田友達 弘田長 富士川游(医史学) 藤浪剛一(放射線) 三浦謙之助(内科) 三宅秀 矢部専之助

英語・英語教育 井上十吉 岡倉由三郎 神田乃武 衛生学 坪井次郎 遠山椿吉 戸田正三 矢崎芳夫 横手千代之助 音楽 兼常清佐 神津専三郎 田中正平(オルガン) 田辺尚雄 山内盛彬

化学 飯盛里安 石津利作(醸造) 石藤豊太(大薬) 大幸勇吉 小川正孝(ニコチウム) 久原躬弦(有機) 久保田勉之助(有機) 桜井錠二 柴田雄次(分析化学) 高松豊吉(応用) 田中芳雄(応用) 田丸節郎(アンモニア) 永海佐一郎(無機) 中沢岩太(応用) 仁田勇 真島利行(有機) 松井直吉

科学史 大谷亮吉 菅井準一 矢島祐利 官僚・政治家 木内重四郎 阪谷芳郎 幣原坦(教育) 末松謙澄 添田寿一(経済) 松尾長造(文部) 渡辺洪基

氣象 岡田武松 国富信一 中村精男 藤原咲平 和田雄治(海洋) 教育 池岡直孝(倫理) 伊沢修二(音楽) 小笠原道生(体育) 菊池謙二郎(歴史) 倉橋惣三(児童・保育) 後藤牧太(手工) 小林栄(諸苗代日新聞) 田中寛一(心理学) 谷本富(ヘルバルト) 永田方正(アイヌ) 新渡戸仙岳(蘭土史) 松下丈吉(政教社) 山路一遊

経済・財政・商業・実業 浅原源七(自動車) 神戸正雄(財政) 土子金四郎 平沼淑郎 松崎蔵之助 和田田謙三 建築 石井敬吉 石原憲治(都市計画) 伊東忠太 内田祥三 岸田日出刀(造形意匠) 佐野利器(構造) 辰野金吾 大熊喜邦(公共建築) 佐藤功一(早大) 塚本靖(意匠) 中村達太郎(建築史)

工学 浅川権八(機械) 桂弁三(金属) 小坂狷二(鉄

道・エスペラント) 斯波忠三郎(船舶) 柄原豊太郎(航空) 依国一(冶金) 野呂景義(冶金) の場中(冶金) 真野文二(機械) 宮城音五郎(機械) 村上武次郎(冶金)

工業・鉱業・鉱物 伊藤貞貞(鉱物) 岩佐巖(鉱業) 巖谷立太郎(鉱山) 喜多源逸(化学) 手島精一(教育) 渡辺渡(鉱山) 和田維四郎(鉱物)

国文学・国語学・国学 上田万年 大槻文彦 木村正辞 金田一京助 久米幹文 黒川真頼 小中村清矩 新村出 高野辰之(唱歌) 中邨秋香(詩) 物集高見 保科孝一(官僚) 武藤元信 和田万吉(図書館)

昆虫 石井梯 江崎梯三 齋木外岐雄(昆虫) 佐々木忠次郎(蚕) 名和靖 松村松年 三宅恒方 八木誠政 矢野宗幹

細菌・衛生 緒方規雄 緒方正規 谷口腆二 外国文学 後藤末雄(仏) 吉江喬松(仏) 山岸光宣(独)

地震 石本巳四雄 大森房吉 関谷清景 松沢武雄 思想・啓蒙・哲学 井上円了 井上哲次郎(倫理) 内田周平(中国) 加藤弘之 狩野亨吉 杉浦正臣(儒学) 清野勉 津田真道(洋学) 戸坂潤 中島力造(倫理) 中村正直 西周 西村茂樹 根本通明(儒学) 三宅雄二郎・雪嶺

社会 安部磯雄 大江敬(新聞) 鈴木寿太郎 外山正一 石本静枝(産児制限) 建部邇吾(社会学)

写真 生田益雄 宗教・神話 姉崎正治 境野哲(仏教) 高楠順次郎(印度学) 松村武雄

植物 池野成一郎 石川光春 伊藤篤太郎 乾環 大久保三郎 大野直枝 小倉謙 川村清一(菌類) 草野俊助 桑田義備(細胞) 郡場寛 向坂道治 坂村徹(遺伝) 柴田桂太(生理学) 白井光太郎(本草) 武田久吉(登山) 徳川義親 中井猛之進(分) 中野治房 服部広太郎(菌類) 早田文蔵(分類) 藤井健次郎(遺伝) 堀正太郎(生物学) 本田正次 松村任三 真保一輔 宮部金吾(乱闘) 三好学(歌) 保井コノ(細胞) 矢田部良吉(詩人) 山羽儀兵

心理 淡路田治郎(社会) 今田恵 内田勇三郎 小保内虎夫 久保良英 桑田芳蔵 中島泰蔵(美術) 野上俊夫 松本亦太郎 足立文次郎

人類・考古 元立文太郎(解剖) 小金井良精(解剖) 坪井正五郎 鳥居竜蔵 浜田耕作 松村瞭

水産 雨宮育作 岸上鎌吉

数学 遠藤利貞(和算) 掛谷宗一 菊池大麓 吳文聡(統計) 沢田吾一(数学史) 高木貞治 竹内端三 辻正次 次 林鶴一 藤沢利喜太郎 藤原松三郎 三上義夫 柳原吉次 吉田洋一

政治・政治家 大島圭介 小野塚喜平次 杉浦重剛 千頭清臣(教育) 鳩山和夫(弁護士) 山本宜治

生物学 石井友幸(進化論) 内田恵太郎(魚類) 岡田要之助(土壌) 篠原雄(科学哲学) 早坂一郎(古生物) 松原新之助(水産学) 南方熊楠(民俗学)

生理学・生化学 内山孝一(医史学) 浦本政三郎 大沢謙二 柿内三郎(生化学) 加藤元一 酒井卓造

造船 三好晋六郎 末広恭二 寺野精一(航空) 平賀讓(海軍) 山本武蔵 横田成年(航空)

地質 菊池安(鉱物) 坪井誠太郎(鉱物) 横山又次郎(古生物) 小川琢治(地理) 小沢儀明(古生物) 巨智部忠承 小藤文次郎 神保小虎(鉱物) 坪谷幸六 津屋弘遠 福地信世(舞踏) 脇水鉄五郎(土壌)

地理 秋岡武次郎(地図) 今村学郎(地質) 岡本監輔(北方) 多田文男 田中館秀三(地質) 辻村太郎 山崎直方

通信技術 木村駿吉 鉄道 大江武男 電気工学 伊藤奎二 鯨井恒太郎 沢井廉 志田林三郎 渋沢元治 瀬藤象二 立原任 中野初子 難波正 藤岡市助(電芝) 密田良太郎 山川義太郎

天文 蘆野敬三郎(数学) 上田穰 及川奥郎 神田茂 早乙女清房 新城新蔵(中国) 関口鯉吉(気象) 寺尾寿(数学) 平山清次 平山信 山本一清 動物 飯島魁(魚類) 飯塚啓(環虫類) 石川千代松 岩川友太郎 内田清之助(鳥類) 大島広 丘浅次郎 丘英通 川村多実二(淡水・鳥) 須藤義衛門(獣医) 田中茂穂(魚類) 津野慶太郎(畜産) 寺尾新 福井玉夫 増井清(畜産) 松本彦七郎(地質・博物)

著作佳吉 宮島幹之助(衛生学) 谷津直秀 渡瀬庄三郎

土木 清水濟 白石直治 田辺朔郎 中山秀三郎 二見鏡三郎 古市公威

農業・農学 稲垣乙三 遠藤保太郎(養蚕) 岡崎桂一郎(米食史) 古在由直(農芸化学) 酒匂常明(米) 鈴木梅太郎(農芸化学) 田中長三郎(柑橘) 玉利喜造 永井威三郎(米) 森要太郎 横井時敬

博物 田中芳男 美術・工芸 紀淑雄 岡倉覚三(思想) 小山正太郎(洋画) 沢口悟一(漆) 滝精

谷田部良吉「羅馬字ヲ以テ日本語ヲ綴ルノ説」(1882) 小山正太郎「書ハ美術ナラス」(1882) 岡倉覚三「書ハ美術ナラスノ論ヲ讀ム」(1882) 村岡範為馳「魔鏡ノ解」(1883) 菊池大麓「理学之説」(1884) 外山正一「女子の教育を論じ併せて耶蘇教拡張の法を説く」(1886) 伊沢修二「楽器ノ話」(1887) 関谷清景「地震動の性質を示す雛形」(1888) 坪井正五郎「帝国大学の隣地に貝塚の蹟跡有り」(1889) 重野安禪「我邦古来ノ憲法及大学ノ景況」(1889) 石川千代松「自然ニ於ケル人類ノ地位」(1891) 末松謙澄「宗教の分界」(1892) 田中館愛橘「電気振動」(1892) 大森房吉「余震 After Shocks ニ就キテ」(1894) 長岡半太郎「レントゲン氏の大発見」(1896) 島田幸三郎「螢ノ仔虫」(1897) 長岡半太郎「第十三回万国測地学協会総会報告」(1901) 小金井良精「日本石器時代の住民」(1903) 坪井正五郎「日本石器時代人論」(1903) オリバー・ロッチ「最近の物質観」(1903, 1904) 南方熊楠「童話の研究」「飛行機の創製」ほか(1904-15) 木村正辞「支那国号の由来」(1905) 後藤牧太「千里眼婦人の実験について」(1910) 中村清二「明治四十四年二月二十二日東京帝国大学理科大学に於て福来博士と余との千里眼に関する会談」(1911) 長岡半太郎「ニュートン祭に寄せたる書状」(1911) 「タゴール氏の講演(要旨、於・東京帝国大学)」(1916) 寺田寅彦「原子核に就て」(1918) 吉田イ教授「公開講演題目、於・東京帝国大学」(1919) 「学術研究事業遂行国際組織に関する聯合諸国会議」(1919) (アインシュタイン来日特集号) 石原純ほか相対性理論に関する論文6本掲載(1922) 「帝国学士院記事 アインシュタイン教授歓迎会」(1923) 「第三回汎太平洋学術会議」(1926) 戸坂潤「科学の歴史的社会的制約：その綱領」(1930)

一(美術史) 武井武雄(壁画) 南部修太郎 源綱紀(筆記) 田亨(東洋) 原勝郎(西洋) 細木原青起(漫画・挿絵) 森若月保治 星野恒 三浦周行(法制史) 谷延雄(家具) 三上参次 水原準三郎(暦) 病理 藤浪鑑 三浦守 有賀長雄(公法) 合川正道(憲法) 一瀬勇三郎 梅謙次郎(商法) 片山国嘉(法医学) 金井延(法学) 木下広次(教育) 末岡精一 寺尾亨(国際) 富井政章(民法) 土方寧 鳩山秀夫(民法) 穂積重遠(民法) 穂積陳重 穂積八東(憲法) 松波仁一郎(海商法) 三田定次郎(法医学) 宮崎道三郎 森莊三郎(保険) 薬学 近藤平三郎 下山順一郎 高橋順太郎 丹波敬三 林業・林学・造園 上原敬二 鎌木徳二 川瀬善太郎 志賀泰山 白沢保美 土井藤平 新島善直 福羽逸人(造園) 本多静六 三浦伊八郎 三村鐘三郎 歴史・漢学 大類伸(西洋) 喜田貞吉 黒板勝美 重野安禪 島田重礼 田中義成 辻善之助(仏教) 坪井九馬三 内藤耻叟 羽

東洋学芸雑誌

DVD-ROM 全1枚

近代日本の学術・思想界の流れを知るうえで、
とくに欧米文化受容の動態を跡づけるものとして、
最も至要な雑誌全号を収録。



(大空社 2011年2月刊)
ISBN978-4-283-00778-9

価格(本体 75,000円+税)

残部
少
2025.1

【収録内容】東洋学芸雑誌(東洋学芸社、東京社)→「学芸」(東京社)
→「東洋学芸雑誌」(興学会) 全567号・総約35,000ページ

《特色》

- ① 日本の近現代学術研究史上の各領域の重要論文を多数掲載する。
- ② 文学では初期の翻訳・新体詩形成の重要文献を掲載、思想では進化論受容の主導的役割を担った。従来、自然科学誌と目されていたが、広義の“科学”総合雑誌を目指した稀有な雑誌だった。
- ③ 学術組織・団体・研究者の動向を記録する記事を毎号掲載する。
- ④ 原誌の一部を所蔵する研究機関・図書館は多数あるが、全号を揃える機関は皆無に等しい貴重かつ稀少資料である。
- ⑤ 全567号が1枚に収まり、容易に目的の記事にたどり着ける。

【仕様】

- (1) 原寸大モノクロ画像(見開き2ページを1コマ)
- (2) ファイル形式PDF(Windows/Macintoshどちらでも可)
- (3) 「巻号(発行年月日-執筆者)」「執筆者(50音順配列、掲載巻号-発行年月日)」の2種の「索引」(html形式)で目的の号へ直接ジャンプ可。「執筆者索引」は論文執筆者・投稿者・記事記者者すべて採録した詳細なもの。

*書店では扱っておりません。お問い合わせ、お申し込みは下記へ。(専売)国内販売元

学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

東京都東村山市秋津町5-24-13-101
(〒189-0001)
TEL: 042-306-3383
FAX: 042-306-3384
eigy@ozorasha.co.jp

 パンセ
学術図書販売(株)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-1-4 オフィス下山手3B
TEL 078-945-7835 FAX 078-945-7886

 0120-518-521

E-Mail: contact@tosho-pensee.com <https://www.tosho-pensee.com>